

第3回PTA部会 議事録

(1) 日 時：令和7年3月12日（水）午後7時より、（教育会館 第5研修室）

(2) 参加者：委員（10名）、事務局7名

(3) 内 容

① 部会長あいさつ

② 資料説明及び意見交換

- ・ これまでの経緯について
- ・ スクールバスについて
- ・ 通学方法について
- ・ PTA組織について
- ・ 同窓会組織について

《部会長あいさつ》（省略）

《資料説明及び意見交換》

部会長 ・ お手元の資料に基づいて進めていきたい。まずスクールバスについて事務局の方からの説明をお願いしたい。

（これまでの経緯について）

事務局 ・ これまでの経緯を説明

12月の第2回PTA部会で春の10ルート案から12ルート案に増やした案を提案した。さらに市の他の部局とも相談し、市内の公共交通体系を相談する中で、バス車両やルートの利便性も考慮し、本日修正した事務局案として提案させていただく。今後さらに他部局と車両の大きさや運行方法、運行時間、費用等細かな所を検討していくので、本日はこの事務局案に対してご意見等をいただければと考えているどうぞよろしくお願いしたい。

（スクールバスについて（案））

事務局 ・ 資料1：スクールバスについて（案）

資料2：スクールバス路線図（案）

資料3：スクールバス発着時刻表（案）

資料4：スクールバス停車位置イメージ（案）

資料5：スクールバス利用人数予測（案） を説明

- ・ 今年度協議していただいた結果を踏まえた事務局案について説明させていただく。

資料1をご覧ください。基本的な考えは変わっていない。

- ・ 路線バスをスクールバスとして利用する。
- ・ 朝1便、夕2便を運行する。
- ・ 利用対象者は、家からジオアリーナまでも距離が1.5km以遠の生徒とする。
- ・ 停留所は原則として現在のバス停を利用する。
- ・ バスには、高校生も含めて一般の方も乗車する。
- ・ 乗車運賃は無料を想定している。
- ・ 基本的なこととして中学生が学校に来れることを第一にすべきだと考え、12ルートに増やして対象となる中学生全員が乗車できるバスを整備することとした。前回も説明したが10ルートだと学校に近づいてきたときに乗り切れない場合があるという意見もいただき④市街地循環線1、⑧市街地循環線2を追加した。前回アンケートをとった中で中学生が80%、高校生が30%乗車した場合も全員乗れる。これが今できる最大限のところかと考えている。

	- 資料2の路線図に④市街地循環線1、⑧市街地循環線2がある。あとは各小学校区から出るバスになっている - 資料3をご覧ください。実際バスがどのように動くかの時刻の一覧になっている。学校の始まりを8時20分と想定し8時前後にジオアリーナに着く上りの1便を考えている。野向線が一番早くて7時25分に出発してジオアリーナに7時50分に着く。他のバスも同様にジオアリーナに着く。ジオアリーナの到着時刻をずらしてある。 - 資料4を見ていただくと地下横断歩道の入口はジオアリーナの通常の入口の反対側になる。雨や雪のことを考慮して同じ時間に何台もつなぐと危険になるため5分間隔で2台から3台着くようにしている。雪が降ると時間がずれることもあると思うが上りはジオアリーナのあと勝山総合病院やサンプラザに行って勝山駅に行く。帰りの下りの1便は部活動のない生徒が帰る時間として16時40分から16時55分にジオアリーナを出発する。鹿谷線1が一番長くても37分かかる。下りの2便は部活動が終わった生徒が帰る時間として18時30分から18時45分にジオアリーナを出発する。最終は19時12分に矢戸口着となる。 - 資料5は令和9年4月1日時点での中学校の全校生徒数と距離ごとの人数を数えた表になる。1.5km以上はバス通学、あるいは自転車通学を希望する生徒をこれから校則を決めていく中で検討することになる。今日の資料にはないが、勝山中学校に行くであろう全生徒の住所をプロットして地図に落とししてどのバス停に乗るかのシミュレーションをして時刻を考えている。
部会長	最後の資料5は通学方法の説明で詳しく協議をしたい。資料1から資料4の内容で時刻はバス会社とシミュレーションしたのか。
事務局	担当課が路線バスの業者と近似した数値でシミュレーションしているので大幅にちがうことはないと聞いている。
部会長	机上でのシミュレーションなので天候や交通状況で若干変動することはあるかと思う。柔軟に対応していくことを前提に説明を聞いて質問や意見があればお願いしたい。PTA部会としては今年度最後となると思うのでスクールバスについてで一回、通学方法についてで一回一人一人から意見等をいただければと思う。
委員1	2点ある。資料3で矢戸口は19時12分着になる。出発時間を変更できないのか。調整済みでこの時間になったのか。もう少し早くならないのかと思う。
事務局	全車両が一度に来ると危ないので5分ずつずらす必要がある。鹿谷線1を18時30分に変更することはできる。4本や5本同時に発車というのは難しい。たとえば平泉寺線と鹿谷線1を入れ替えるとかはできる。
委員2	終着バスはなるべく差がつかない方がいいと思う。2つ目は生徒の乗車が18時30分から18時45分だが生徒はどこかで待つことになるが学校で待つのか。学校だと教職員が残っていないといけなくなると働き方改革はどうなるのか。
事務局	中学生に合わせると1便目は16時ごろに部活動のない生徒は帰ることができる。30分待つことになる。高校生は7限目まであって7限目が終わるのが16時30分で少し高校生に配慮してある。長い時間待たせないで中学生優先だということになれば早めることはできる。2便目は18時30分になっているが中学生は18時には帰ることができる。高校生の部活終了は19時になるので18時30分にして部活動を切り上げて乗ることができる。現在も19時以降のバスはないので高校生で部活動をする生徒は何らかの方法で帰宅し

	ている。これも中学生優先になれば早めることはできる。教職員がここに残ることについては例えば話し合っバス当番的に誰か一人がつくとか、別の方をお願いするとか、このことについては流動的になっている。
委員 3	必ず部活があるので生徒の居場所はどこになるのか。誰が管理するのかをいつかは示した形にしないといけない。
事務局	生徒の居場所は「学びの丘」があるのでそこで宿題をしたりバスを待ったりできる。10 分前ぐらいに地下横断歩道をわたって間に合うのではないかな。慌てると忘れ物があるので余裕をもたせてある。あまりにも 1 便目を早くするとか、2 便目を遅くすると運行経費にも関わってくる。
部会長	部活が終わって通路を走ると危険になるのでジオアリーナ側の方に待機場所が可能であればあるといい。
事務局	バドミントンはジオアリーナで部活動をしている。
部会長	終わったらすぐに帰るのか。教室には戻らないのか。
事務局	- 勝山高校だと教室に鍵がかかっている。 - バドミントン部の生徒はいいが、学校の方で部活動をしている生徒もいるので折衷案も考えていかないといいけない。
部会長	他にはないか。
委員 4	中学校のバスなので中学校に合わせるとどうか。今お聞きしていたら高校生は終わったらそれなりに帰っているらしい。早めることができるのなら早めたほうがいい。
事務局	貴重な意見をありがとうございます。事務局でも中学生が優先か高校生も考えるのかの議論がある。中学校再編用の交通体系だから中学生に不便をかけるようではいけない。中学校 P T A や勝高 P T A の皆様からも中学生優先となれば柔軟に考えることができる。
委員 5	感覚的に待ち時間が長いと思って今話を聞いて仕方がないと思ったが中学生が 7 時に帰ってくるのは遅いのではないかな。高校生が遅いのは仕方がない。中学生の目標は 5 時半か 6 時がいいのではないかな。朝ほどは混まないと思うし保護者の迎えもあるのでバスは中学生を中心にした方がいい。
委員 6	バスは待ってくれないだろう。誰が乗っているのかはチェックしないで動いているものに乗っていく感じになる。遅れた時に送る人がいなかったらどうするのか。朝 1 便ではこわい気がする。電話をすると迎えに来てくれる車があるといい。その日が休みにになってしまう。考えておいた方がいい。
部会長	今までも会議の中でその話が出たことがある。そこまで待って拾っていると大変になる。遅刻などは生活の問題もあるのでそこまではいいという意見があった。
委員 7	バスに乗る希望のリストは提出しないのではないかな。リストがあると車で待っていないといけない。
事務局	大野市の場合は乗る人は事前申請をする。1 年の単位で決めてしまう。ただ乗るといった人が来ないから待っていることはない。時間になれば出発する。そうしないと遅れていってしまうし逆の苦情が来る。5 分、10 分の遅刻には対応できないが病院によるとか別の理由で遅れる場合は公共交通として停留所をつなぐデマンドバスが運行される予定である。中学生も利用できると思うので組み合わせて通学することになる。
委員 8	定時を想定しての物だと思うがテスト期間中や半日で帰る場合はどのように考えているのか。バスを運行しないと保護者が迎えに来る。勝高周辺の状況を見ると一斉に迎えに来るスペースはない。ジオアリーナで受け入れ態勢を

	とるのか、時間をずらしてバスを運行するのか。運転手問題が以前からあげられていたが12便の時に運転手が確保できるのか。
事務局	・テスト中や半日で帰る場合は年間で数日かと思う。今までだと月と水に時間割が少ない日があったがそういう日なるべく作らないことが一つの方法になる。またその日だけ昼に1便を出す方法がとれないか試算をしている。迎えがなくなることはないと思っているがたくさん迎えが来ないような対策はしなくてはいけない。運転手について、実際路線バスは10路線走っている。加えてタクシーの運転手もいる。2路線増えても公共交通の担当と話をして運転手の数は確保できると考えている。高齢化等のこともあると思うので継続的な確保の問題はあると思う。運輸支局と相談してどういう方法で運転ができるのかを検討したい。
委員 9	・今後、現場との擦り合わせが行われると思うが2点あげると、一つ目は中学校の授業は週29コマなので毎日ではそろわない、必ず1日へこむ。へこんだ1時間に生徒たちが何かをしているとなると問題がある。二つ目は朝ばらばらに来るのは読書等をすればいいので吸収しやすい。帰りは外の部活動が5時40分に終わって6時30分まで待たすのにもう一度校舎に入るのはナンセンスでできない。ここについても今後擦り合わせていくことになる。
委員 10	・運転手の問題もあるが車両は大丈夫なのか。
事務局	・車両については国の補助金等があるので新たに導入する方法もいくらかかっていつ頃に発注すればいいかの検討はしている。例えば平泉寺だとどういう車両がいいのか検討している。生産が追いつかないという事でない限り今のところ新規の車両でも10ヶ月あれば納車できるとバス会社には聞いている。
部会長	・バスの台数は確保できそうだということになる。
委員 11	・中学生はサンプラザでは乗ってはいけないのか。
事務局	・乗ってもいい。ただ平泉寺線は勝山駅から出てくるのでサンプラザが先になる。時間があるのでサンプラザに行ってそこで乗ってジオアリーナに行って帰ることになる。
事務局	・無料だしどこで降りてもかまわない。 ・おばあちゃんの家へ行かなくてとはという時に違う地区だったらその方面のバスに乗ればいい。
事務局	・平泉寺線で同じ路線に乗っていて終点まで行って歩いて帰る時に迎えが来ないのでこわいから途中で降りて友達の家で待っていてあとで迎えに来てもらうこともできる。
委員 12	・2便の勝山総合病院は絶対によるのか。乗る人がいない気がする。
事務局	・この時間帯も公共交通の担当と話をして乗る人が0に近いのであれば通過でもいいかと思う。一般の人が乗るか乗らないかになる。病院を通過しても時間的には2分3分ぐらいしか変わらないかと思う。
委員 13	・奥越明成高校に通っていて帰りの迎えが勝山総合病院になる。6時台になるのでちょうどそれに乗って帰ることができる。大野高校や奥越明成高校に通っている生徒は乗ることができる。
事務局	・勝山総合病院に停まらないとなってもサンプラザで乗ることができる。
部会長	・最初からすべてを想定しているとシミュレーションができなくなるのではないか。実際に運用してからの検討になるのではと思う。
委員 14	・上りの野向線が北郷線とあまりかわらない乗車時間なので7時25分発は早いのではないか。
委員 15	・順番を変えることは可能ではないか。

事務局	・野向線については路線図を見ていただくと生徒がいる場所は色が塗られているところだが北野津又で一般の人がいる場合もある。ぐると回る部分もあってジオアリーナは近いが乗車時間は長くなる。野向線が早いということであればどこかに入れ替えて7時30分ごろに出発することは可能である。今後打合せをさせていただきたい。
部会長	・これはあくまでもジオアリーナの到着時間をベースにしたシミュレーションでジオアリーナでの到着の混雑状況を踏まえて検討していただく。
委員 16	・矢戸口が一番遠いので帰りを一旦矢戸口に直接行って勝山に戻るときに順に降りていくとどうか。比島を通して直で矢戸口に行ってもらえば5分ぐらいの短縮はできるのではないか。矢戸口から本郷、発坂、まちうちというように降ろしてもらえば帰るのが一番早くなるメリットがある。個人的な意見なので余裕があれば検討してもらいたい。
委員 16	・行きは出発が早いし帰りは遅いというよりは帰りは早いとなると公平感がある気がする。
事務局	・その話は鹿谷の中でオーソライズできるかという部分がある。打合せをさせていただければと思う。
部会長	・他にはないか。考えてほしいとか、考慮してほしいとか。土日の件は今後検討材料としてあるが高校の模擬試験の時はバスは出さないのか。
事務局	・バスは平日を基本としていて土日、祝日は運行を考えていない。年間で日曜日に保護者会があると決まっているときはその日を別に運行することも検討する。
部会長	・中学生は試験が土日にはないということか。体育祭とかはある。前提として、土日は運行しない。
委員 17	・イベントがある土日とか早く帰る日は子どもだけを拾うバスを出してもいいのではないか。子どものいないバス停は停まらなくていい。
委員 18	・土日に何らかの形で学校に行かなくてはいけないうちに親も行くことになってジオの駐車場を使うことになったとする。実は5月24日に大会のためにジオアリーナの駐車場を借りようとしたが大きな行事があるので借りられなかった。ジオアリーナは大丈夫だが駐車場が使えないのでできないことがある。ジオアリーナは毎週いろいろなイベントがあって体育館や駐車場を使う。学校行事で駐車場が必要な場合、いろいろなイベントと重なることを考えておかないといけない。
部会長	・中学校で体育祭となったときに南部中でも道路沿いに車がかなり停まっている。勝手に停めると周りの方にも迷惑をかけるので年間行事の中でジオアリーナの駐車場を考慮しておく必要がある。
委員 19	・旧中学校を利用するとか、シャトルバスとか。
委員 20	・今年勝高は工事をしているので体育祭をジオアリーナでやった。中学校もジオアリーナとするのか。
部会長	・新中学校は何人くらいになるのか。
事務局	・150人が3学年として450人ぐらいになる。
部会長	・勝高も100人が3学年で300人ぐらいか。そうすると体育館でもできるが種目は限られる。そのようなことも考えていくことになる。中学校で土日にどんな行事があるのか。
委員 21	・体育祭や学校祭、保護者会、PTA総会などがある。部活動は令和8年度の秋から土日はしなくなる。
部会長	・そのあたりも年間で考えていくことになる。他はよろしいか。では次に進み

ながら出てきたらお願いします。次に通学方法のバス、自転車、徒歩について説明をお願いしたい。

(通学方法について)

- 事務局 ・ スクールバスについては事務局案を基本にいくつか出たご意見を今後検討していくということでありありがとうございます。では資料5をご覧ください。現小学校4年生から6年生の人数になる。全校生は455人になる。そのうち1.5km未満の生徒が149人でこの生徒は徒歩としたい。1.5km以遠はバスを準備していて306人になる。1.5km～2.0kmの生徒は75人、2.0km～3.0kmの生徒は70人、3.0km～6.0kmの生徒は120人、6.0km以遠の生徒は41人になる。今までの部会では絶対バスに乗らなくてはいけないのか、自転車は認めないのかという話の中で強制はできないだろうということだった。事務局の案を言うのでご意見をお願いしたい。徒歩は1.5km未満の生徒、自転車は1.5km～3.0kmの生徒145名の中で希望する生徒、3.0kmを超える生徒はバスでお願いしたい。文科省の補助金の対象が3.0km以遠の生徒は豪雪地帯となり冬に補助対象になる。6.0km以遠の生徒は年間補助対象になる。そのこともあって3.0kmを超える生徒はできるだけバスに乗っていただきたい。自転車は1.5km～3.0kmの145人で希望する生徒としたい。実際駐輪場のことを考えるとジオアリーナの駐輪場は40mあって一般の方も利用するが計算すると自転車は66台が駐車可能、勝山高校の駐輪場の状況をお聞きすると3棟ある自転車棟のうち1棟の半分、約40～50台の余裕があるということだった。一方で送迎の車も禁止とは言えない。皆さんのご意見を伺いたい。
- 部会長 ・ キャパの問題とルールの問題を合わせて考えていかないといけない。質問があればお聞きしたい。
- 委員1 ・ 単純にジオアリーナのところに自転車で行くのはわたるのが危ないから地下横断歩道になったのではないかな。自転車で渡るのなら同じではないか。勝山高校になると場所的にも難しくなる。自転車もジオアリーナというのも変ではないか。
- 委員2 ・ 村岡の方の北側からの子はジオアリーナに停めて南側は勝高に停めるのはどうか。
- 委員3 ・ 基本的には自転車通学は賛成だが先ほどのことはある。ジオアリーナに停めると喫煙所が隣にある。時間帯のこともあるが生徒が停める駐輪場の真横に喫煙所があるのはどうか。問題が起きた時にジオアリーナの施設になるから責任はどうなるのか。あまりジオアリーナの方は使わない方がいいのではないか。勝高側に駐輪場があった方がいい。
- 委員4 ・ 勝高の駐輪場を大きくするのは無理なのか。
- 委員5 ・ 高校生と別にしないといけない。わかりやすくした方がいい。何かあったらと思う。
- 委員6 ・ 地下横断歩道は自転車を押していけるのか。
- 事務局 ・ スロープはない。
- 委員6 ・ 送り迎えはジオアリーナを考えているのか。高校生もジオアリーナにして地下横断歩道で行くのか。
- 事務局 ・ 徒歩生徒も増える。そこに自転車、さらに車となると大変危険なので車もバスもジオアリーナでお願いしたい。
- 委員7 ・ 実際、勝山高校の生徒は芳野医院の前に迎えに来てもらっている。想定される考え方は自転車通学するが雨の時はバスに乗る。
- 部会長 ・ 村岡の方から来てジオアリーナに自転車を置いて歩いて地下横断歩道という

	より芳野医院の方へ降りてしまうのではないかな。勝高の駐輪場に停めた方が校舎に近いから比率としては勝高側が高くなるのではないかな。先生方の駐車場はどこになるのかな。
事務局	・中学校の先生方はジオアリーナに停めていただいて地下横断歩道を通ることを考えている。
部会長	・先生方?何人ぐらいになるのかな。
事務局	・30人から40人ぐらいになる。
	・ジオアリーナの駐輪場はかなり空いているのでバドミントン部は授業が終わると自転車をジオアリーナに持つ。たとえばバドミントン部は朝からジオアリーナに自転車を停めておくかどうか。そうすると勝高の駐輪場も空くのではないかな。今の意見を聞くと新しい駐輪場を建てられるかどうかもある。実際の動きを検討しないといけない。バスと違って自転車は校則とも絡んでくる。皆さんの意見を聞いて検討したい。
部会長	・駐輪場は検討していくとして1.5km~3.0kmを自転車の通学が可能ということについてはどうか。
委員8	・3.0km以上の人は補助対象になると言われたが何の補助かな。
事務局	・文部科学省が家から学校までの距離が6.0km以上は遠距離通学としている。その人には通年、路線バスに乗る人には補助金の対象になる。勝山は特別豪雪地帯なので冬に3.0km以上は通学困難者として補助対象になる。そこはバスで来るという国交省の想定になっている。
委員9	・市にお金が入るのかな。
事務局	・バスを購入したりする補助になる。
委員10	・3.0kmとか遠くても自転車で来たい子はいるのではないかな。好きな時間に帰れるし時間の融通がきく。
委員11	・3.0kmは自転車では何分かかるのかな。
委員12	・20分ぐらいではないかな。
委員13	・自転車通学は申請制になると思う。ヘルメットも着用の義務がある。基本的なお願いとして1.5km~3.0kmにしてほしいということはいいい。それ以外でどうしてもと言われれば仕方がない。
部会長	・自転車で来ても補助対象外にはならないのかな。
事務局	・登録していれば補助の換算にはしてもらええる。たとえば北郷から8.0kmあるが運動訓練のために自転車通学するのは校則と安全性に係る。
部会長	・1.5km~3.0kmは自転車も可能というのはよろしいかな。3.0km以上の人はどうするのか。ルールはバスでお願いしたい。毎日ではなくても自転車で来る事が発生した場合にどうするか。
事務局	・準備委員会としてはこのPTA部会で検討していただくとともに11月から中高連携の先生方の会議も始まっている。その生徒支援部会の中でも通学について生徒指導の先生方に話をさせていただいている。一番は子どもの安全性の問題になる。中学生の体力と距離を鑑みた時に3年生なら高校生ぐらいの体力はあるだろうが、入学した1年生が自転車でくるのはどのくらいがいいのかを検討している。委員会としては自転車は1.5km~3.0kmでいいのではないかな。ただ4.0km以上の子も認めてあげたいという意見があったことも参考にさせてもらって先生方にも話し合っていて決めていくことになると思う。
委員14	・バスには306人は登録されていてさらに自転車登録ということで長い距離の子は先生ではなくて親の話になる。親がしっかり出すというのであれば仕方

	がない。長い距離はダメといったところで家で話し合っただけで自転車となればいいのか。
委員 15	・安全のことを考えてバスでお願いしたいと言っても親が誓約書みたいなものを出すことにすればいい。
部会長	・自転車には保険の問題もある。
委員 16	・市Pでの保険がある。
部会長	・親の了解のもとでという話になる。生徒指導の先生はきちっと言いたいと思うが。
委員 17	・原則として決めてあとは親の判断で例外的に許可する。
部会長	・PTA部会としては3.0km 以遠においても親の責任において認めることを検討していただきたい。最終的には中高連携の会議で練っていただいて決まったことに準ずることによろしいか。 ・では2の意見交換は終わるが全体を通して何かあったらお願いしたい。よろしいか。 ・次に報告内容としてPTA会長方でいろいろ検討いただいたPTA組織及び同窓会組織についてお願いしたい。まずはPTA組織について事務局から報告をお願いする。
	(PTA組織について)
事務局	・参考資料1をご覧ください。 - 参考資料1. PTA部会に係る打合せ会の概要を説明 ・PTA組織については3 中学校のPTA会長に集まっただき、1 月 27 日に話し合った。その結果がこの資料になる。ゴシックの部分が決定した部分になる。 ①会長、副会長等の決め方 ・会長1名、副会長3名(内女性1名)基本的に令和8年度、9年度と2年間していただく副会長から1名を会長として選出し、その会長の校区で女性の副会長を選出する。 ・監事は各校区1名ずつとする。 ②委員会の数と人数 ・委員会は学年委員会のほか広報・子育て・環境整備(仮称)の3つとする。委員は各クラス2名で全校で30名とする。 ・入学式で3年間分の委員を決めていただくが、令和7年度と令和8年度は南部・中部が各クラス2名ずつ、北部が各クラス1名ずつとする。(北部は場合によって3名になるかもしれない) ・地区委員は現在の地区委員の地区を基本に選出する。 ③会費と予算 ・会費や予算等はR7年度に検討する。(会費を引き下げ2000円としても可能だと思われる) ・特別会計は今後の部活動の地域移行を見ながらR7年度に検討する。ということになった。補足をお願いしたい。
部会長	・3 中学校で補足はあるか。
委員 1	・南部中では役員会をしてこのような方針で進めている。
委員 2	・中部中も役員会で話をして4月に委員を決めていく。この週末に引継ぎがある。仮に中部地区で女性の会長が出た時に女性の副会長を出すことになる。岐阜県などにもあるしそれもいいと思う。会長が市Pの役を兼任すると大変になる。令和9年にどの地区が会長になるかは決まっていない。心配すると

	ころかと思う。
委員 3	・北部中も会長の選任に対し輪番制で決めてもらって何年に北部地区から会長を出すと言ってくれた方が決めやすいという意見もある。副会長を中学校区から1名出すのも早めに市Pを通して報告して心づもりをしておきたい。早く決めて下ろしてもらった方がいい。
部会長	・委員は新中学校で30名で令和7年度、令和8年度は令和9年度の委員として4名、4名、2名を選ぶのはどういうことか。
委員 4	・令和9年度の委員の分を南部中から4名、中部中から4名、北部中から2名を決めておくということになる。
委員 5	・新中学校で委員を決めるのか現中学校で決めるのかということで令和7年度から令和9年度の委員も順に決めていくことになった。
委員 6	・南部中だと各学年6名ずつ出していたが令和9年度は4名になる。
委員 7	・会長副会長以外の委員は単年になるので役員の方は令和8年度、令和9年度と2年間やっていただけるといい。何もわからないままというより知っている方がいる方がいいのではないかと。令和9年が始まったら考えてやっていくしかない。
部会長	・これについてはPTA部会で云々という話ではないのでこれまでの報告をいただいた。小学校の会長の方はよろしいか。
委員 8	・30人を4つの委員会でわるのか。
委員 9	・話し合いでは南部と北部は3つで中部は4つあるので3つに統一できるかというと思っている。
委員 10	・広報・子育て・環境で10人ずつ、乱暴な決め方だけどそういう案になっている。広報はデジタル化が進むので10人も必要なのか、逆にその形だから10人必要なのかは要検討になる。
部会長	・学校側としては実際の委員運営を見ていて今の話はどうか。
委員 11	・そのまま同じ規模でやってしていくのだろうと思うが何か問題かということではない。新中学校は資源回収にしても半日奉仕にしても活動が広がるので心配になる。始まってしまえば動くかなとは思っている。
委員 12	・資源回収について一気にするのも勝山市全体が動くことになるので業者もとても追いつかない。北部地区、中部地区、南部地区ごとに3回に分けるという案も出た。
委員 13	・それをジオアリーナに集めるのか旧中学校にするのか、分散はした方がいい。通常だと年2回広報誌を出す範囲が広がった中で年2回だけでは情報が少ない。学校からの通信やいろいろな媒体で情報発信はしている。それが3中学校分ある。それをうまく活用すれば広報はいらないのではないかと個人的には思う。二度手間にならないようにスリムにできるところはする。今後の検討かと思う。
委員 14	・会長が出た地区は女性の副会長はどういう意味か。今もそうなのか。
委員 15	・女性が1人入っていないと困る。子育て委員が必要になる。
委員 16	・1というのではなく女性を2人以上とかいわないと女性が一人だけになるのはかわいそうではないか。男性、女性と今どき文言を入れるのではなくそうすること。これだと男性ばかりの世の中みたいと思う。女性が軽く入るようにしなくてはいけない。
委員 17	・年によるが全部が女性という年もある。いないと困るという県の仕組みもある。
委員 18	・県の委員も女性だし子育てとなったときにお母さんの意見は必要なところは

	ある。
部会長	・子育て委員は女性になっているのか。
委員 19	・母と女教師の会もある。
委員 20	・これを機になるべく簡単にするとか、男女半々になるように役員を選ぶとかにするとどうか。
委員 21	・女性 1 人が役員会に入ることがつらいのだろうか。たとえば北郷から会長が出た場合、女性を北郷から出すと会長とは何らかのつながりがあるから女性がたとえ 1 人でも面識があるから出席しやすいという意味合いで会長の出たところは女性の副会長とした。
委員 22	・出てくるという問題ではなく 1 人必ず入らないといけないのであれば半々ぐらいになるといっておく。文言だけの問題になる。
部会長	・勝高の P T A は副会長の女性を会長のところから出していないのか。
委員 22	・監事が 1 人女性。
部会長	・勝高もこれとよく似ていなかったか。
委員 23	・会長が輪番になるだけ。規約として乗せるのはどうか。
事務局	・P T A で決めることだがあくまでもこれは決めるときの内規なので規約を作るときには表現はやわらかいものにしないでと考えている。県 P へ行ったときに女性が必要ということで決め方のルールと思っていただきたい。
部会長	・P T A 規約はどこでだれが作るのか。
委員 24	・令和 8 年度中に作るのではないか。
委員 25	・枠だけは決めておいて細部は新中学校が始まってから検討していってもらえないのではないか。
委員 26	・総会に出して了承をもらうという話になる。
委員 27	・それも手探りになる。細かいところがないと動けないという意見もあるし、ガチガチに決めてもどこの総会にかけるのかということもある。あくまでもたたき台になっていくのだと思う。
委員 28	・今の P T A は全戸加入なのか。新中学校は任意加入になるのか。
委員 29	・入らない方に卒業記念品をわたすのか問題。入らないとなった場合どうするのか。
委員 30	・入らないのならわたさないのではないか。
委員 31	・「現在の P T A は終わります。令和 9 年度は新 P T A になりますよ」と案内だけはして基本的には入るということになる。
部会長	・大変だとは思いますがよろしくお願いしたい。続いて同窓会の方の説明をお願いしたい。
(同窓会組織について)	
事務局	・参考資料 2. P T A 部会に係る同窓会打合せ会の概要については、12 月の際に説明した内容と同じなのでご覧いただきたい。
部会長	・同窓会は作るのか。
事務局	・新中学校に任せることになっている。
委員 1	・9 年度中に卒業生が出るときに決めるということか。
委員 2	・要らないのではないかと自分たちは思う。
委員 3	・学校ができたときは同窓会が決定としてついてきていたのか。現在の中学校の同窓会は最初からあったのか。
事務局	・中部中学校では学校ができたときにはなくて何年かしたあとに今の会長が学校に呼ばれて依頼されて今までずっととされているとお聞きした。
事務局	・補足になるが同窓会の会長と話をしたときには同窓会は卒業生が決めるべき

部会長	ことではないか、今の形の同窓会ならSNSなどがあるので名簿をわざわざ作らなくてもいいのではないかと、それを考えてほしいということだった。 ・勝山高校の場合は卒業生全体のものと東京支部、関西支部との連絡をとりたいので同窓会組織はある。中学校の同窓会は実際クラス単位でしかない。同窓会の必要性を考えたときに中学校の場合はなかなかないのかもしれない。勝高同窓会の名簿も個人情報のこともあって作れない。新中学校の同窓会は卒業するときにゆだねることよろしいか。 ・時間も2時間となり提案に対していろいろご意見をいただいた。PTA部会のまとめを21日の準備委員会で報告をさせていただく。ここにいる方で来年もという方もいるかもしれないが次年度のPTA部会の内容について事務局からお願いしたい。
事務局	・スクールバスに関しては路線やバスの種類等を決定し予算要求をしていくことになる。PTA組織についてはPTA会長を中心に話し合って組織や予算を詰めていきたい。現3中学校のPTA組織についても締めくくりに向けて丁寧に進めていっていただきたい。同窓会はさらに検討すべきことがあれば同窓会長と詰めていくことになる。また同窓会費についての話し合いもすることになる。
部会長	・今回注力していただいたのはスクールバスだが皆さんのご意見を踏まえながら提案資料に準じて動いていくことになる。次年度のPTA会長に内容の引継ぎをよろしくお願いしたい。それでは本日はご議論いただきありがとうございました。1年間本当にありがとうございました。これで第3回目のPTA部会を終了させていただく。他になれば事務局にお返しする。
事務局	・貴重なご意見をいただきありがとうございました。来年度に向けていただいたご意見をもとに精査して進めていきたいと思う。本日は今年度最後の部会だった。1年間ありがとうございました。これで終わりたいと思う。ありがとうございました。

資料1. スクールバスについて (案)

資料2. スクールバス路線図 (案)

資料3. スクールバス発着時刻表 (案)

資料4. スクールバス停車位置イメージ (案)

資料5. スクールバス利用人数予測 (案)

参考資料1. PTA部会に係る第3回打合せ会の概要

参考資料2. PTA部会に係る同窓会打合せ会の概要